

【中学校第3学年の実践】

1 主題名

困難を乗り越えてやり遂げる【A 克己と強い意志】

2 教材

北海道の畜産業の父 エドウィン・ダン（北海道版道徳教材（中学校用））

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

克己と強い意志とは、より高い目標を設定し、その達成を目指し、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げることである。そのためには、自分自身の弱さに打ち勝ち、一つの目標に向けて、計画的に実行していくことが必要である。

中学生は、挫折や失敗を恐れる余り、プレッシャーやストレスを強く感じて健康を害したり、誤ったストレスのはけ口を求めてしまったりすることも見られる年代である。

第3学年の指導に当たっては、生活の中で具体的な目標を設定し、その実現に向けて努力する体験を積み重ね、その体験を振り返って、目標の達成には何が必要かを考えたり、自らの歩みを自己評価させたりすることが大切である。また、困難や失敗の体験を受け止め、振り返る活動を通して、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続ける自分なりの方法について考えさせることが重要である。

(2) 生徒の実態【生徒観】

困難を乗り越えてやり遂げる実践意欲や態度を育てるために、道徳の時間（H31からは道徳科）以外では、次のような指導を行っている。

①総合的な学習の時間「キャリアプランニング」

困難を乗り越えてやり遂げる実践意欲や態度を育てるために、第1学年の時から自分が将来どのような仕事に就きたいのか、また、どのような働き方をしたいのかを、総合的な学習の時間における「キャリアプランニング」の時間で考えさせる学習活動を行ってきた。自己実現を図るため、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続けることについて、自分の生き方と関連付けて考えを深める必要がある。

②特別活動「学級活動（各学期の目標）」

困難を乗り越えてやり遂げる実践意欲や態度を育てるために、学期ごとに「生活面」と「学習面」の目標を立て、振り返ったり、定期テストにおいて、各教科の目標を立て、テスト終了後、振り返ったりする取組を行っている。これらの取組を通して、自分の弱さに気づき、自分の弱さに打ち勝ち、目標に向けて計画的に実行していくことの大切さや達成感を経験させる指導を行った。しかし、時と場合によって、自分の弱さを克服できない場面が見られることから、自分の弱さに打ち勝つ強い意志について、自分とじっくりと向き合い、考えさせる指導が必要である。

(3) 教材について【教材観】

北海道の農業の基礎づくりに力を尽くしたエドウィン・ダンの生き方について、多面的・多角的に話し合い、困難や失敗があっても、自分なりの方法で乗り越えて着実にやり遂げようとするということについて深く考えさせる。そのため、発問の一つ目では、実現できない人間の弱さを考え、話し合わせることで人間理解を深めさせる。発問の二つ目では、困難を乗り越える強い意志について話し合わせ、価値理解・他者理解を深めさせる。

4 ねらい

エドウィン・ダンの生き方に触れることを通して、郷土の開拓のために尽力した先人の功績を知り、より高い目標を設定し、その達成を目指して、困難や失敗を自分なりの方法で乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。

5 学習指導過程

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応	・指導上の留意点 ■評価	「考え、議論する道徳」 に向けた工夫
導 入	● 自分の目標や夢について話し合う。 ○ 叶えたい自分の夢はありますか。 ・希望している高校に入りたい。 ・システムエンジニアになりたい。 ・まだ、具体的に考えられていない。	・自分自身が今、どんな夢や目標に向かって いるかを考えさせる ことで、ねらいとする 道徳的価値への方向付 けをする。	【工夫①】 ・想起することが難しい生徒については「〇〇(職業)になりたい。」「〇〇高校に入りたい。」等、具体例を示す。
展 開	● 教材「北海道の畜産業の父」を読み、話し合う。 ○ ダンの生き方で、あなたがすばらしいと感じるところは、どのようなところですか。 ・自分の力を外国の日本で役立てようとしたところ。 ・手厚い待遇を嫌い、周りの人々と同じように過ごしながら、開拓を進めたところ。 ・バッタやオオカミの被害で、開拓が進まなくても、あきらめず、大きな業績を残したこと。 ◎ ダンを支えていた気持ちや考え方は、どのようなものだと思いますか。 ・自分も持っている技術を北海道で役立てたいという思い。 ・一緒に頑張る仲間のためにもあきらめるわけにはいかないという気持ち。 ・いくつもの困難を乗り越えたときの達成感。	・ダンが使命感をもち、自分なりの方法で困難を乗り越えようとしていることのよさについて、多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。	【工夫②】 ・場面の人物の気持ちや行為の理由を問うのではなく、主人公の生き方のよさを問うことにより、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるようにする。 【工夫③】 ・主人公の道徳的な行為を模範的な例として、価値理解を図るために、一つ目の発問を踏まえ、主題に関わって、さらに掘り下げたり、追求したりする発問をする。
	● 自己を見つめる。 ○ 自分の夢や目標を実現するためには、どのように困難を乗り越えていきたいですか。 ・部活動の目標に向かって、仲間と一緒に頑張っていきたい。 ・人間関係で悩んだ時に、友達や家族に相談して、自分からよい関係をつくるために行動していきたい。 ・志望校に合格するために、テストでなかなかよい結果が出なくても、立てた目標を変えずに、挑戦し続けて、少しずつ成績が伸ばしていきたい。	・失敗や困難を自分なりの方法で乗り越えることの大切さについて、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 困難や失敗があっても、目標に向かって、自分なりの方法でやり遂げることの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めることができたか。	【工夫④】 ・教材を読み、話し合った際に見られた生徒の多様な発言の中から、失敗や困難を自分なりの方法で乗り越えるという道徳的価値に焦点化して自分の生活を振り返らせ、自己理解を深めさせる。
終 末	● 教師の説話を聞く。 ● 今日の学習を振り返る。	・教師の体験談を聞いたり、学習を振り返ったりすることで、夢や目標に向かって自分なりの方法で取り組もうとする実践意欲が育まれるようする。	

6 板書

北海道の畜産業の父 エドウィン・ダン



ダンの生き方で、すばらしいと感じるところ

手厚い待遇を嫌い、周りの人々と同じように過ごしながら、開拓を進めたところ

自分の力を外立ってようとしたところ

バッタやオオカミの被害で、開拓が進まなくても、あきらめず、大きな業績を残したこと

ダンを支えていた気持ちや考え方は、どのようなものか

7 ノート・ワークシート

通称ワークシート (0月 0日(水))

名前 XXXXXXXXXX

夢に向かって

Q1 自分の夢や目標はなんですか

社会の良い大学に入りたい

Q2 _____ が 成し遂げた偉業とは何でしょうか?

北海道の 畜産業 の礎を築いた

Q3 エドウィン が 見た困難とは?

- ・何度も災害が牧場を直すこと
- ・バッタが馬のえさの牧草を食べてしまったこと
- ・オオカミが牧場の馬を捕食してこた

Q4 自分の夢や目標を達成させるために、どんなこと困難が予想されるだろうか。

Q5 その困難を乗り越えるためには、自分はどうすれば良いだろうか。

Q4

- ① 高校で勉強がすぎること。
- ② 都会の生活に慣れること。
- ③ 生活でマカが合うこと。

Q5

- ① 壁にぶつかったら、勉強する時間を増やす。
- ② 人付き合いに慣れる。
- ③ 休んでも、おろろに入る。

Q6 自分の夢や予想される困難について交流し、自分だったらどのように乗り越えるか考えてみよう。そして相手に伝えよう。

☆相手からもらったアドバイス 一日は金と笑顔を貯める(田)

② お風呂に入るとリラックス効果がでるから、いいお風呂(車)

人に頼れるは 目的のリストだから自分らしくする。(インク)

Q7 今日の学習で考えたことや学んだことや感想を書こう。

今まで、当たり前のように生きてきたが、書いてみると、意外と大変そうだなと思いました。

高校3年間は、まだ経験から、まだこれから乗り越える必要がありそうです。

【授業実践を振り返って】

エドウィン・ダンの功績と、生徒自身の夢や目標を実現するために乗り越えなければならない困難を重ね、自分との関わりで考えるための指導の工夫をしました。また、「強い意志」「克己」「努力」等の道徳的価値を自分との関わりで考え、議論することで多面的・多角的に考えることができるよう指導の工夫をしました。

生徒からは、

- ・一つのことを乗り越えるにはたくさんの努力が必要。(克己・努力の大切さ)
- ・壁を乗り越えるには、色々な知恵を絞りあきらめないことが大切だと思った。(強い意志)
- ・当たり前やってきたことが書いてみると意外と大変そう。(自分ごととして考える)

などの発言が見られました。

今後は、終末の「今日の学習で考えたこと」を「ダンの生き方から学んだことや、授業を通して考えたことを書こう」等とすることで、ダンの生き方のよさをこれからの自分の生き方につなげ、前向きに考えさせることができるよう、指導の工夫をしていきます。